

令和2年度事業計画

1 基本方針

(1) 自然環境保全及び活用

名古屋市民御岳休暇村（以下「休暇村」という。）は、御嶽山の麓、自然環境に恵まれ、市民生活を支える水源の木曾川上流域に立地しています。この市民の貴重な財産である広大な自然を保護し、活用を図りながら地元と協働して事業を進めます。

(2) 自然体験や環境学習主体の事業運営

豊かな自然を活用した体験事業や環境学習プログラムを通じて、市民が自然に親しむことにより心身のリフレッシュや健康増進を図るとともに、青少年の健全育成を図ります。

(3) 利用促進と効率的な経営

自然体験企画等の充実及び効果的な広報の実施により利用促進に努めるとともに、業務委託の導入等により経費の削減を図り効率的な経営を行います。

2 事業の実施計画

(1) 公益目的事業

近年、環境に対する関心は非常に高くなり、また余暇に対する考え方や価値観も大きく変化しているなか、公益財団法人名古屋市民休暇村管理公社（以下「公社」という。）は、恵まれた自然環境を活用し、休暇村を利用される方々に対して自然体験や環境学習など様々な事業を提供します。

ア 自然体験事業

休暇村敷地内のヒノキやカラマツなど50ヘクタールに及ぶ人工林の間伐、枝打ち、広葉樹の植樹などの森林整備を地域や下流域の市民と協働で進める「市民の森づくり事業」を実施するほか、国・長野県の補助事業を活用して設置した「王滝百草の森」の整備を地元王滝村の協力を得て進めるとともに、水資源涵養や地球温暖化防止(CO₂削減)、生物多様性など森林が果たす機能と重要性について学ぶことができる森林体験学習を行います。

また、地元王滝村等の協力を得て、森林鉄道を活用した事業や遊休農地を利用した農業体験、木曾地方に伝わる食べ物を始め伝統文化等の体験事業を実施します。

イ 青少年健全育成事業

小・中学生を始め青少年が自然の中で集団生活や自然体験活動を行うことにより、自然環境に対する感動や創造性を育む「豊かな心」を育成し、生命の大切さや人権の尊重など道徳性の涵養を身につけることを目的とした青少年の健全育成事業を、大学生のボランティア「キャンプカウンセラー」や特定非営利活動法人(NPO)とともに進めます。

ウ 健康増進支援事業

森林浴や高地ウォーキング、温泉療養、薬膳料理の提供など休暇村の豊かな自然環境を活用したプログラムの提供により市民の健康増進を支援します。

(2) 収益事業

ア 施設貸与及び飲食販売事業

名古屋市から遠く離れた休暇村で行われる様々な体験活動等に参加するには宿泊が欠かせないため、宿泊に伴う施設貸与や飲食提供を行うとともに土産物等の販売を行います。

イ 旅客自動車運送事業

交通アクセスが良くない休暇村利用において、自家用自動車を持たない人や高齢者が体験活動に参加いただけるよう貸切バスによる名古屋・休暇村間の送迎を行います。

3 事業参加者促進への取組

平成 29 年 6 月に長野県南部で発生した地震の影響により、セントラル・ロッジがおよそ 3 年間の休館を経て、本年 4 月に再開館することになり、利用促進に向けて次のとおり取り組みます。

(1) 広報・PR

ア 新たな利用者層の獲得に向けて、休暇村の施設、立地条件などの特性を活かしたゼミ合宿やスポーツ・サークル合宿での利用促進に取り組みます。具体的には、各大学の学生課を通じて PR を行うほか、ナゴ校（大学生の連携により名古屋市を魅力的にするための名古屋市の取り組み）に参加している大学生や留学生を含む名古屋地域の学生を対象にしたモニターツアー（ファミトリップ）を実施し、休暇村の情報を SNS により発信していただくとともに、大学生の利用促進に向けた提案をしていただきます。

イ リピーター客を呼び戻すため、広く再開館を PR するほか、スケッチや撮影会等の企画ツアーに参加された方の作品展や休暇村に関連した作品ならどなたでも参加のできる作品展を名古屋市内で開催します。

ウ 自然の場を活用したチームビルディング（チームで協力して課題解決に取り組むことを通じて、協力し合うことへの理解促進及び一体感の醸成や人的ネットワークの形成などを図る）への関心の高まりを踏まえ、各種研修利用の促進を図ります。

エ 日本遺産に指定されている木曾地域や王滝村の観光魅力とあわせた集客を図るため、名古屋市、地元町村や観光関連団体等と連携してスキーシーズン、グリーンシーズンなど焦点を絞った観光 PR イベントを名古屋市内で開催します。

オ 即時伝達性や若年層へのアピールを念頭にフェイスブックやブログ等SNSの活用やホームページの充実、動画広告等による利用促進を図ります。

カ 名古屋市の協力を得て、名古屋まつりや東山動植物園春・秋まつりを始め市内で開催されるイベントに出展参加します。

キ 公社の事業取組について、プレスリリース、配信を行います。（広報なごや、各マスコミ、旅行誌への事業プランの案内や賛助会員制度等の情報提供）

ク 事業案内パンフレットの名古屋市内町内会組回覧及び各区役所等情報コーナー等への掲出を行います。

ケ 名古屋市内各種団体や企業に対して訪問営業活動を行います。（事業プランや会員制度の案内、保養所契約を締結した団体への積極的な利用促進依頼）

(2) 事業の充実等

ア 休暇村の利用促進と公社の財政基盤を強化するため、賛助会員制度の効果的な運用を図り、会員の募集に努めます。

イ 御嶽古道や瀬戸川国有林、御嶽の星空など地元で埋もれている観光資源や歴史的資源の掘り起こしと活用を図ることで、ここでしか体験することのできない「オンリーワンの楽しみ方」を提案していきます。

ウ リピーター客のさらなる増加に向けて、地元食材を用いた食事メニューを充実するとともに、再訪したくなるミニトリップの紹介とミニツアーを提供します。

エ 地元の有識者や技術継承者、農林業経験者などの協力を得て、自然環境や文化・歴史等を対象にした体験企画を実施するなど、参加者の満足度を一層高めます。

オ 森林浴や温泉浴、高地効果や転地効果など休暇村の特異な立地条件を活用した滞在型の健康増進支援プランを提供します。

カ 貸切バス経営のメリットを生かした名古屋・休暇村間送迎の体験企画メニューを充実します。

4 利用の環境整備等

(1) ゼミ合宿やスポーツ・サークル合宿、高地トレーニングなどの利用受け入れの環境整備を進めます。具体例として、合宿料金の設定、ランドリー設備の充実、合宿向け食事メニューやアスリート向け食事メニューの提供、トレイルランやランニング、クロスカントリーなどの練習コース整備、近郊のスポーツ公園や練習場所への送迎などを行います。

(2) 高齢者や障害者も安心して自然の中で憩いの時を過ごすことができるよう、遊歩道の整備を始め村内整備を進めます。

(3) 森林浴や温泉浴による「憩いと癒し」や豊富な自然を利用して非日常を体感し、

リフレッシュすることができる宿泊型体験施設として整備を進めます。

(4) 外国人の利用を見据え、館内英語表記を進めます。

5 地域への貢献と連携

名古屋市から離れた地にある休暇村で様々な事業を展開するには、王滝村を始め地元の協力が不可欠であるため、地元で行われる各種行事や奉仕活動への積極的な参加、観光振興イベントへの協力を行うなど地域との信頼関係の構築に努めます。

- (1) 地域の自然景観、文化・歴史、産業・技術などの資源を活用し、観光による豊かな地域づくりと地域経済の活性化を目的に王滝村や木曽町、木曽おんたけ観光局等が進める「世界水準の滞在型観光地づくり」への協力
- (2) 王滝観光総合事務所やスキー場などが行う観光振興イベントとの連携
- (3) 地域の自然や歴史、文化、産業などの積極的な紹介と体験プログラム等の実施による相互交流
- (4) 地域の環境保全・整備事業への参加協力
- (5) 地域の奉仕活動への参加協力

6 環境保全への取組み

市民の貴重な財産である休暇村の広大な自然の保護等環境保全に努めます。

- (1) 長野県林業総合センターや森林管理署などによる技術指導や林業経験者の協力を得て、間伐・植樹・下草刈り・炭焼きなどを行う市民の森づくり事業を実施し、水源涵養や地球温暖化防止（CO₂の削減）に努めます。
- (2) 長野県や王滝村、有識者の協力を得て、村内に生息するササユリやラン、クマタカや、昆虫類など希少な生物等の保全活動に取り組めます。
- (3) 信州省エネパトロール隊の提言に基づく、省エネ、温室効果ガスの削減など環境改善へ取り組めます。
- (4) 生態系に及ぼす影響が懸念されている海洋プラスチックゴミを解決する取組として、レジ袋などのプラスチック素材からの代替えを進めます。
- (5) 廃棄物の発生抑制（リデュース）とリサイクルを推進します。

7 安全対策

(1) 施設の保全

ア 建物・機械設備等は、保守点検及び法定点検のほか日常点検を欠かさずに行い、性能の維持管理に努めるとともに利用者の安全確保に努めます。

イ 道路、遊歩道、橋梁、駐車場のほか村内敷地の日常点検を行い、適正かつ安全な状態を維持します。

(2) 事故、災害対策

ア 防火対策委員会・自衛消防組織による火災等災害の予防、防災設備の改善計画策定及び防災意識の高揚と啓発活動を実施します。

イ 危機管理マニュアルに基づき、事故や盗難、破壊等犯罪の発生の警戒、防止及び日常の保安警備を実施します。

ウ ノロウイルスなどによる感染症や食中毒防止、レジオネラ属菌対策など衛生管理を徹底します。また、新型コロナウイルスについての情報を適宜来訪者に周知します。

エ 自動車事故防止のため、車両の日常点検の実施と運行管理者及び整備管理者による安全な運行管理を行います。

オ 熊や猪などによる事故の未然防止策を講じます。

(3) 個人情報の保護

公社が保有する情報に対して保護対策が十分か定期的に点検し、適切な保護対策を講じます。

ア 個人情報に対する取扱いや職員の責務についての意識向上を図ります。

イ 個人情報が記載されている文書は、盗難、災害等による情報の漏えい、滅失又は、き損を防止するため厳格な管理をします。

ウ 電子情報に対しては、人的情報保護対策及び技術的情報保護対策を講じ、情報の漏えい、滅失又は、き損を防止するとともに、ネットワークや情報システム、コンピューターへ不正なソフトウェアの侵入、感染又は、不正なアクセス行為を防止するための措置を講じます。

8 職員の資質向上

(1) 市民が自然の中で行う様々な体験活動や森林・温泉などの自然環境を活用した健康増進の支援を行うため、事業に必要な各種資格等の取得に努めるとともに知識・技術の向上研修や業務研修を実施します。

(2) 市民生活を支える水源の木曾川上流域に位置する休暇村の自然環境を保護、活用するため、森林整備や自然環境保全の知識や技術の取得向上研修を実施します。

9 長野県南部で発生した地震及び御嶽山噴火による影響と今後の見通しと取組み

(1) 長野県南部で発生した地震の影響と今後の見通し

平成 29 年 6 月 25 日に発生した木曾町を震源とする震度 5 強の地震の影響により、セントラル・ロッジは休館していますが、平成 29 年度に名古屋市において被災度区分判定を行った結果、耐震補強工事等を施す必要が判明し、平成 30 年度に耐震改修その他復旧工事にかかる調査・設計作業が進められました。

令和元年度に名古屋市による改修工事等の入札が行われ、8月に工事着手、今年度内の工事完了、本年4月24日に再開館する予定です。セントラル・ロッジは、約3年の休館を経て、リニューアルオープンを迎えることになり、開館に向けたPR、予約受付、受入準備を進めるとともに、令和2年度はリピーターを呼び戻すほか新たな利用者層の獲得に向けた取り組みを行うことにより、御嶽山噴火前の平成25年度利用実績20,000人(セントラル・ロッジ15,000人, キャンプ場5,000人)を目標に掲げて職員一丸となって取り組んでまいります。

(2) 御嶽山噴火による影響と今後の見通しと取り組み

王滝口登山道は、御嶽山七合目の田の原天然公園から上部が入山規制されていましたが、登山道の整備や避難小屋の補強により、平成28年9月24日から一部時間帯のみ九合目まで入山可能となりました。平成29年8月21日には噴火警戒レベルが1(活火山であることに留意)に引き下げられ、木曽町の黒沢口登山道は、避難シェルターの設置や登山道の整備が行われ、安全対策が概ね施されたことに伴い、平成30年9月26日から10月8日までの期間限定ながら入山可能となり、令和元年度は7月1日から10月16日まで入山が可能となりました。一方王滝口登山道は「王滝頂上山荘」を避難所に改修し、令和元年度中に王滝頂上まで登ることができるよう整備が進められていましたが、天候不順により整備が遅れたため、王滝頂上までの入山は見送られ、令和2年7月に王滝頂上までの入山が可能となる見込みです。

観光が基幹産業である地元王滝村や木曽町では、登山客や観光客の減少が著しく、地域経済に大きな影響を及ぼしていますが、本年4月にセントラル・ロッジがリニューアルオープンすることから、地元自治体や観光関連団体との連携や名古屋市の協力を得ながら、利用者のV字回復に努めてまいります。

(資料)

令和 2年度 公益目的事業 (計画)

1 主催事業

主催事業回数 136回、 延べ参加人員 20,390人

(1) 自然体験事業

実施回数 48回、延べ参加人員 2,270人

事業名	回数	人員	実施時期
間伐、植樹、下草刈りなど水源の森づくり	3	280	6, 9, 10月
森林体験学習 (親子体験含む)	5	150	6, 8, 1~3月
野生生物・昆虫等観察会・標本づくり	11	480	7, 8月
自然体験登山・トレッキング (親子登山含む)	13	470	4~7, 9~12, 3月
星座教室、特別観望会	3	270	5, 8, 10月
農業、里山、山村体験	5	160	5, 6, 11月
森のコンサート	3	260	4, 7, 11月
スケッチ・写真撮影会	5	200	4, 7, 10, 11, 3月
合計	48	2,270	

※ 野生生物・昆虫等観察会のうち、9回380人は青少年健全育成 (おんたけこども村キャンプ) の参加者を対象に実施。

(2) 青少年健全育成事業

実施回数 40回、延べ参加人員 6,220人

事業名	回数	人員	実施時期
おんたけこども村キャンプ	35	5,580	7, 8月
おんたけこども村ネイチャーキャンプ	1	120	9月
おんたけこども村スターウォッチング	1	120	11月
おんたけこども村雪の学校	3	400	12, 3月
合計	40	6,220	

(3) 健康増進支援事業

実施回数 48回、延べ参加人員 2,620人

事業名	回数	人員	実施時期
健康増進ウォーキング・トレラン教室	24	1,500	4～11月
山菜・茸採り体験リフレッシュプラン	3	195	6,10月
山野草・薬草観察	5	250	6,7,9月
シニアスキー教室・健康増進スノーウォーキング	16	675	12～3月
合計	48	2,620	

(4) 体験館等の運営

参加人員 9,280人

事業名	人員	実施時期
食の体験館	300	
木工・工芸体験館	80	
天文館	3,500	
クライミング体験	400	
間伐材を利用した木工体験出前講座	5,000	通年
合計	9,280	

2 支援事業

支援事業件数 665件 人員 12,200人

事業名	件数	人員	実施時期
野外活動・キャンプ指導・青少年健全育成	200	5,000	6～9月
環境保全・環境学習・体験学習	15	500	通年
登山・カヌー・自転車・ウォーキング・ランニング等スポーツ支援	300	4,000	〃
自然観察（天文・地質・気象）・植物観察	30	600	〃
森林浴・健康ウォーク	100	700	〃
絵画・写真・地域文化	20	1,400	〃
合計	665	12,200	